



大切にしたい あなたとのつながり

2020年10月5日秋田版CCRC拠点施設「クロッセ秋田」1階に新装開店した秋田駅前支店

ディスクロージャー
DISCLOSURE 2020 2020年
4~9月

あきしんの現況 秋田信用金庫半期開示ディスクロージャー誌



秋田信用金庫に対し、平素より格別のご愛顧を賜り、心よりお礼申し上げます。

当金庫の2020年9月期の主な経営内容をお知らせいたします。

2020年9月期の業績

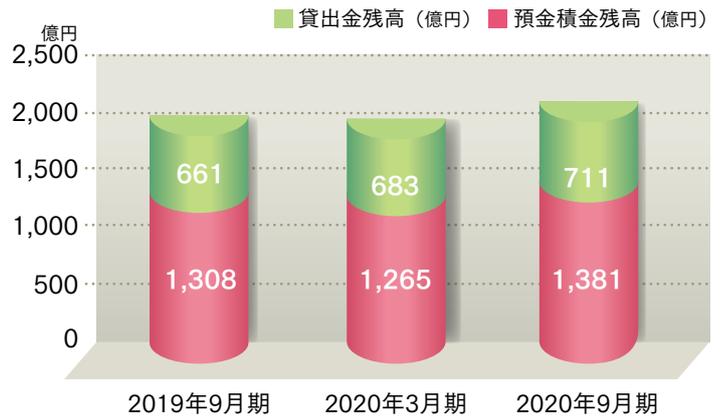
> 預金貸出金残高

預金につきましては、個人、一般法人及び公金の流動性預金が増加し、前年同期比7,367百万円の増加となりました。

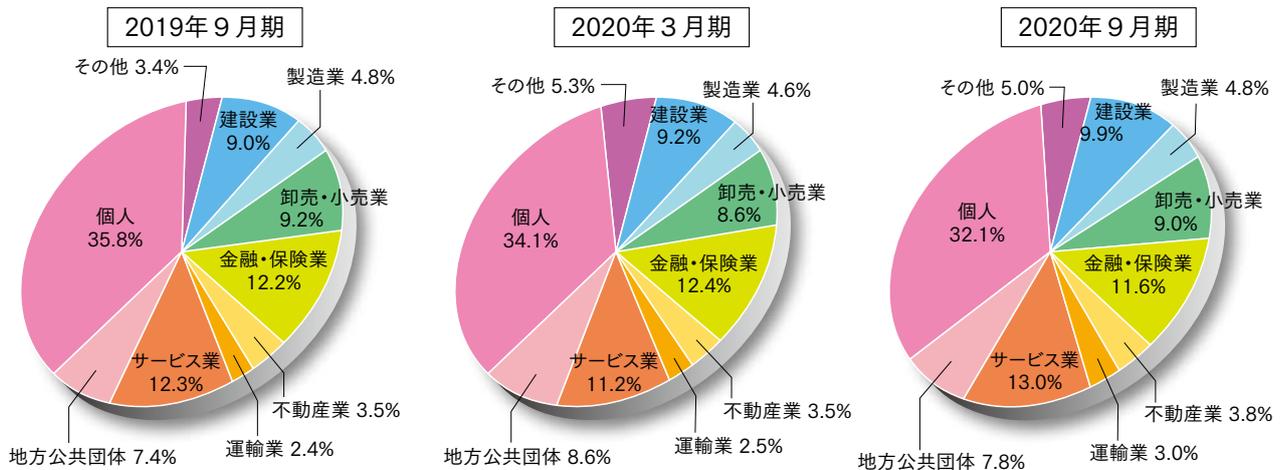
貸出金につきましては、消費者ローン及び住宅ローン残高は減少しましたが、一般法人及び個人事業主に対する新型コロナウイルス関連融資の取組み等から、前年同期比4,976百万円の増加となりました。

業況および諸比率の推移

預貸金の推移



貸出金業種別構成比



> 損益状況

業務純益は、債券の償還益等の有価証券関連収益の減少等により、前年同期比103百万円減少の98百万円の計上となりました。

経常利益は、業務純益の減少に対し、貸倒引当金等信用コストの減少等から前年同期比47百万円減少の100百万円の計上となり、当期純利益は同43百万円減少の84百万円の計上となりました。

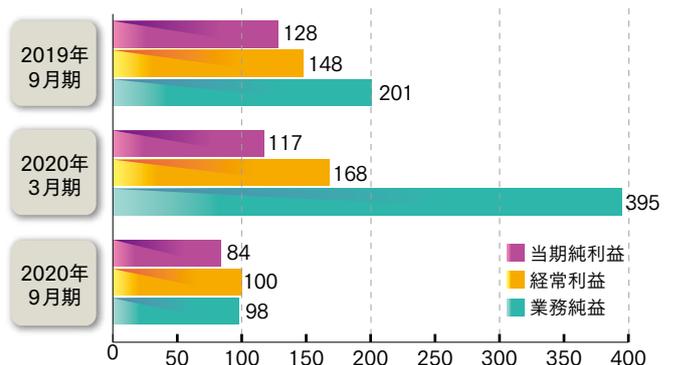
◆2020年9月期実質業務純益 98百万円

実質業務純益は、業務純益から一般貸倒引当金繰入額の影響を除いたものです。

◆2020年9月期コア業務純益 108百万円 (うち投資信託解約益0円)

コア業務純益は、実質業務純益から国債等債券損益の合計額を除いて算出された本来業務から得られる利益のことです。

損益状況の推移



> 有価証券の状況

当金庫ではお客様からお預かりした資金の一部を、信用力の高い債券を中心とした有価証券等で運用しております。

保有有価証券等の時価情報

1. 売買目的有価証券 該当する取引はありません。

2. 満期保有目的の債券

(単位：百万円)

	種 類	2019年9月期			2020年3月期			2020年9月期		
		貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額	貸借対照表計上額	時 価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国内債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	200	209	9	200	206	6	200	205	5
	小 計	200	209	9	200	206	6	200	205	5
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国内債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	小 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	200	209	9	200	206	6	200	205	5	

3. その他有価証券

(単位：百万円)

	種 類	2019年9月期			2020年3月期			2020年9月期		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	国内債券	25,365	24,523	842	21,342	20,812	530	20,267	19,779	487
	その他	10,074	9,393	680	6,517	6,121	396	9,227	8,650	576
	小 計	35,440	33,917	1,522	27,860	26,933	926	29,495	28,430	1,064
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	国内債券	244	244	△0	3,209	3,257	△47	2,835	2,885	△49
	その他	5,445	5,588	△142	9,347	10,587	△1,239	9,379	9,939	△560
	小 計	5,690	5,832	△142	12,557	13,844	△1,286	12,214	12,824	△610
合 計	41,130	39,750	1,379	40,418	40,778	△360	41,709	41,254	454	

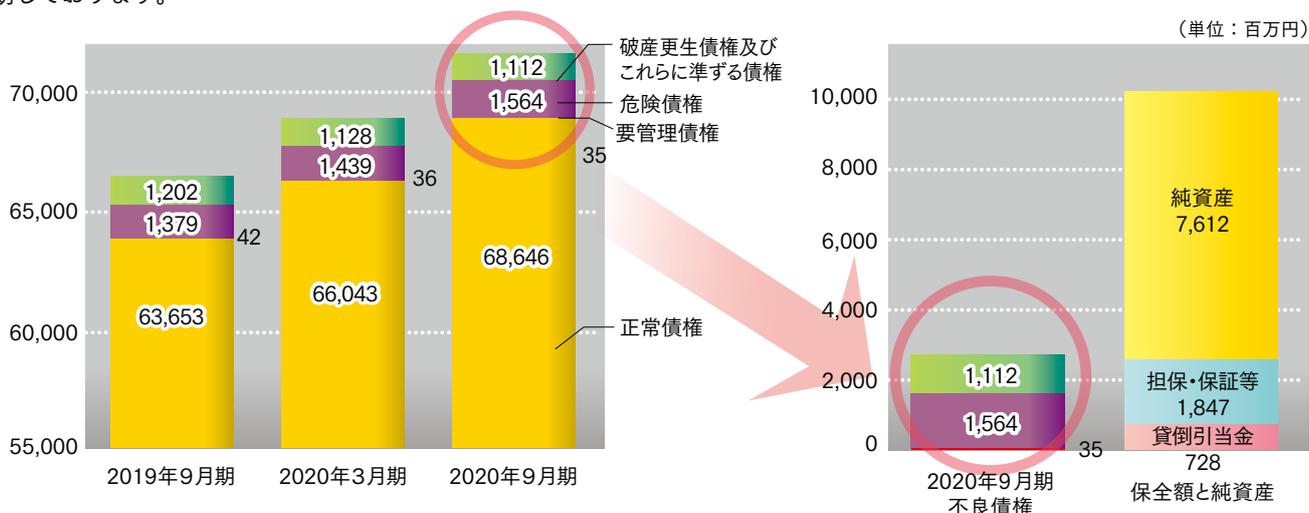
(注) 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券のうち、主なものの内容と貸借対照表計上額は次の通りです。

- ・ その他有価証券
 - あきた創業サポートファンド 53百万円
 - 非上場株式 20百万円

> 金融再生法に基づく開示債権

2020年9月期は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う危険債権先に対する資金繰支援の取組み等から、不良債権残高は前年同期比87百万円増加しましたが、分母となる貸出金残高の増加により前年同期比0.15ポイント低下し、3.80%となりました。

また、不良債権の94.98%が貸倒引当金や担保・保証等により保全され、さらに自己資本となる純資産7,612百万円を有し万全を期しております。



- (注) ○「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」は、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権で、債務者区分が破綻先及び実質破綻先に該当する債権です。
- 「危険債権」は、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本及び利息の受取ができない可能性の高い債権で、債務者区分が破綻懸念先に該当する債権です。
- 「要管理債権」は、債務者区分が要注意先に該当する債権のうち、3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に該当する債権です。
- 「正常債権」は、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題のない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

自己資本の充実の状況等

★自己資本の構成に関する事項

(単位：百万円)

項目	2019年9月期	2020年3月期	2020年9月期
コア資本に係る基礎項目(1)			
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	7,237	7,202	7,284
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,210	1,210	1,207
うち、利益剰余金の額	6,026	6,016	6,076
うち、外部流出予定額(△)	-	24	-
うち、上記以外に該当するものの額	-	-	-
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	151	198	183
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	151	198	183
うち、適格引当金コア資本算入額	-	-	-
その他コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-	-	-
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	7,389	7,400	7,467
コア資本に係る調整項目(2)			
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	19	15	19
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	19	15	19
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	24	21	10
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	43	36	30
自己資本			
自己資本の額((イ)-(ロ))(ハ)	7,345	7,364	7,436
リスク・アセット等(3)			
信用リスク・アセットの額の合計額	55,159	56,009	56,802
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	△1,173	△1,173	△1,173
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	△1,173	△1,173	△1,173
うち、上記以外に該当するものの額	-	-	-
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	3,111	3,084	3,084
リスク・アセット等の額の合計額(ニ)	58,270	59,093	59,886
自己資本比率			
自己資本比率((ハ)/(ニ))	12.60%	12.46%	12.41%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するための基準」(2006年金融庁告示第21号)に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

信用金庫は、国内に特化する金融機関であることから、国内基準で4%以上を維持することが義務付けられております。2020年9月期の自己資本比率は、リスク・アセットの増加等から12.41%とやや低下しましたが、国内基準を大幅に上回る水準となっております。

自己資本比率の推移



★自己資本の充実度に関する事項

(単位：百万円)

項目	2019年9月期		2020年3月期		2020年9月期	
	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額	リスク・アセット	所要自己資本額
イ. 信用リスクアセット・所要自己資本の額合計	55,159	2,206	56,009	2,240	56,802	2,272
①標準的手法が適用されるポートフォリオごとのエクスポージャー	54,797	2,191	55,349	2,213	55,965	2,238
現金	-	-	-	-	-	-
我が国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	-	-	-	-
外国の中央政府及び中央銀行向け	-	-	53	2	52	2
国際決済銀行等向け	-	-	-	-	-	-
我が国の地方公共団体向け	-	-	-	-	-	-
外国の中央政府等以外の公共部門向け	-	-	-	-	-	-
国際開発銀行向け	-	-	-	-	-	-
地方公共団体金融機構向け	-	-	-	-	-	-
我が国の政府関係機関向け	436	17	434	17	393	15
地方三公社向け	40	1	40	1	40	1
金融機関及び第一種金融商品取引業者向け	7,799	311	7,133	285	8,481	339
法人等向け	21,403	856	23,826	953	23,532	941
中小企業等向け及び個人向け	14,066	562	12,744	509	12,262	490
抵当権付住宅ローン	2,165	86	2,076	83	1,988	79
不動産取得等事業向け	2,133	85	2,309	92	2,329	93
3ヵ月以上延滞等	77	3	82	3	45	1
取立未済手形	2	0	2	0	1	0
信用保証協会等による保証付	699	27	683	27	605	24
株式会社地域経済活性化支援機構等による保証付	-	-	-	-	-	-
出資等	83	3	83	3	241	9
上記以外	5,889	235	5,879	235	5,990	239
他の金融機関等の対象資本調達手段のうち対象普通出資等及び外部TLC関連調達手段に該当するもの以外のものに係るエクスポージャー	1,956	78	1,956	78	1,956	78
信用金庫連合会の対象普通出資等であってコア資本に係る調整項目の額に算入されなかった部分に係るエクスポージャー	627	25	627	25	627	25
特定項目のうち調整項目に算入されない部分に係るエクスポージャー	641	25	610	24	603	24
上記以外のエクスポージャー	2,664	106	2,685	107	2,803	112
②証券化エクスポージャー	-	-	-	-	-	-
③リスク・ウェイトのみなし計算が適用されるエクスポージャー(ルック・スルー方式)	1,532	61	1,833	73	2,010	80
④経過措置によりリスク・アセットの額に算入されるものの額	-	-	-	-	-	-
⑤他の金融機関等の対象資本調達手段に係るエクスポージャーに係る経過措置によりリスク・アセットの額に算入されなかったものの額	△1,173	△46	△1,173	△46	△1,173	△46
⑥CVAリスク相当額を8%で除して得た額	2	0	-	-	-	-
⑦中央清算機関関連エクスポージャー	0	0	-	-	0	0
ロ. オペレーショナル・リスク	3,111	124	3,084	123	3,084	123
ハ. 単体総所要自己資本額(イ+ロ)	58,270	2,330	59,093	2,363	59,886	2,395

- (注) 1. 所要自己資本の額=リスクアセット×4%
 2. 「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)並びにオフバランス取引及び派生商品取引の与信相当額等のことです。
 3. 「3ヵ月以上延滞等」とは、元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3ヵ月以上延滞している債務者に係るエクスポージャー及び「我が国の中央政府及び中央銀行向け」から「法人等向け」(「国際決済銀行等向け」を除く)においてリスク・ウェイトが150%になったエクスポージャーのことです。
 4. 当金庫は、基礎的手法によりオペレーショナル・リスクを算出しています。

<オペレーショナル・リスク(基礎的手法)の算定方法>

$$\frac{\text{粗利益(直近3年間のうち正の値の合計額)} \times 15\%}{\text{直近3年間のうち粗利益が正の値であった年数}}$$

5. 単体総所要自己資本額=単体自己資本比率の分母の額×4%

上半期

TOPICS

トピックス



4月

▶秋田信用金庫 入庫式

今年は11人の新入職員が入庫しました。お取引先の皆様にもご指導いただきながら、一日も早く独り立ちし皆様のお役に立てるよう育成してまいります。



▶出資証券の不発行化

会員の皆様からお預かりした出資金につきましては、これまで出資証券を発行しておりましたが、近年の株式会社における株券の不発行と同様、4月1日より出資証券を不発行とし、当金庫の会員名簿により電子的に一元管理することとしました。

お預かりしている出資金は、電子データ等として厳格に管理しており、出資金残高ならびに会員としての権利等につきましては、これまでと変わりありません。(不発行化にあたり、お手元の出資証券はそのまま保管いただければ結構です。万一紛失された場合でも、お届けの必要はなく、出資金ならびに会員としての権利等に何ら影響はございません。)

何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

▶預金規定等の電子化

4月1日より施行された民法改正等を踏まえた預金規定等の改定に伴い、ペーパーレス化推進のため、「預金規定等」の電子化を実施しております。

当金庫ホームページにおいて最新の「預金規定等」が閲覧いただけることから、誠に勝手ではございますが、窓口での「預金規定等」の配布を終了させていただきます。

何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

▶新型コロナウイルス感染症にかかる相談窓口受付時間の延長

新型コロナウイルス感染症により影響を受けられたお客様からの融資等のご相談受付体制を拡充するため、4月6日から4月30日の間、全営業店の相談窓口受付時間を延長(午前9時から午後5時30分まで)しました。

5月



▶新型コロナウイルス感染症に係る休日相談窓口の設置

4月に実施した相談窓口受付時間の延長に続き、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられたお客様からの融資等のご相談受付体制を拡充するため、5月2日から5月6日の大型連休中「休日相談窓口(本店、土崎支店、船越支店、五城目支店)」を、5月2日から5月31日の土日祝日に「休日電話相談窓口(本部)」を設置しました。

当金庫では引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大により、直接または間接的に影響を受けられた中小事業者・個人事業主の皆様のご経営の安定に資する相談対応や金融支援に努めてまいります。

また、当金庫では、飛沫感染防止のために全営業店におけるスクリーンボードの設置、役職員のマスク着用、手指消毒等、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に取り組んでおります。

6月

▶「第71回通常総代会」開催

6月26日、第71回通常総代会を開催し、2019年度決算について報告し、同剰余金処分案等について決議しました。

なお、この度の通常総代会は、会場内の換気、マスク着用、手指アルコール消毒の実施、十分な間隔をとった配席等、新型コロナウイルス感染予防対策を講じたうえで開催しました。



9月

▶泉支店の統合

1998年の開設以来ご愛顧いただいております泉支店につきましては、預金業務や個人のお客様へのローンを主体に営業を行ってまいりましたが、営業エリアの人口減少等店舗を取巻く環境の変化や店舗運営の効率化を考慮し、9月14日付で新国道支店に統合しました。

秋田県2信用金庫『SDGs 共同宣言』の公表



秋田県内の2信用金庫（羽後信用金庫、秋田信用金庫）は、国際連合が提唱する『SDGs（持続可能な開発目標）』に賛同し、協同組織の金融機関として地域の課題解決に取り組み、持続可能な社会を実現するため、本年10月1日、『SDGs 共同宣言』を公表いたしました。

今後も、秋田県の持続的発展に向けて、「地域経済」、「地域社会」、「地域環境」の各分野で、2信用金庫が連携して取り組んでまいります。

【参考：SDGs（Sustainable Development Goals）とは】

2015年9月の国連サミットにおいて採択された「持続可能な開発目標」をいいます。SDGsには、持続可能な世界を実現するため、産業の成長や環境整備、平和、教育等に関する17のゴールが定められており、世界のあらゆる国、企業を含む多様な組織・人が協力・連携し自主的に取組んでいくことが求められています。

秋田県内2信用金庫のSDGs共通の取組み

	地域経済	地域社会	地域環境
SDGs活動方針	<ol style="list-style-type: none"> 創業支援、成長支援、経営改善支援、事業承継支援、M & A支援 ビジネスマッチング等の販路開拓支援 感染症、自然災害の影響に対する支援 キャッシュレス決済の普及推進 秋田県との包括連携協定に関する取組み 信金中央金庫、他県信用金庫との連携 各種セミナー、相談会等の開催 外国人材活用支援 	<ol style="list-style-type: none"> 各自治体、商工会議所等との連携 感染症予防対策に関する取組み 特殊詐欺被害防止への取組み 高齢者や障がい者等へ配慮した取組み 少子化対策への取組み 健康経営の取組支援 成年後見制度への対応 働き方改革への取組み 各種スポーツ大会、文化普及活動の取組み 	<ol style="list-style-type: none"> ペーパーレス化への取組み 環境保全活動への参加 再生可能エネルギー設備への積極的融資 省エネルギー投資の促進 環境性能に優れた製品等への優遇措置
SDGs目標			



「秋田駅前支店」新装開店



秋田駅前支店については、2020年10月2日まで本店隣別館内に設置された仮店舗での営業を行ってまいりましたが、秋田版CCRC拠点施設「クロッセ秋田」の完成に伴い、2020年10月5日より、同拠点施設内1階に新装された店舗での営業を開始いたしました。

お取引先の皆様へは、なお一層のサービス向上に努めてまいりますので、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

〈新店舗の概要〉

- 営業開始日 2020年10月5日（月）
- 営業時間 【窓口】平日9:00～15:00
【ATM】平日8:00～20:00 土日祝日9:00～17:00
- 所在地 秋田市中通二丁目5-1

「クロッセ秋田」は、鉄筋コンクリート造り地上17階地下1階建て。1～4階には、北都銀行や当金庫の各支店及び地域交流スペースのほかシェアオフィスや医療機関等が入居予定。

- 電話番号 018-832-2140（変更ございません）
- FAX 018-832-8109（変更ございません）



● 駐車場は、秋田市公営駐車場、近隣の三井リパークをご利用ください。



大切にしたい あなたとのつながり

〒010-0921 秋田県秋田市大町三丁目3-18
 〈ホームページ〉 <http://www.akishin.com>
 フリーダイヤル 0120-345-112 FAX 018-823-5110
 〈Eメール〉 s1120000@facetoface.ne.jp



本ディスクロージャー誌は植物油インキを使用しています。